

Symantec NetBackup™ スタートガイド

リリース 7.6



このマニュアルで説明するソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供され、その内容に同意する場合にのみ使用することができます。

マニュアルバージョン: 7.6

法的通知と登録商標

Copyright © 2013 Symantec Corporation. All rights reserved.

Symantec、Symantec ロゴ、チェックマークロゴは、Symantec Corporation またはその関連会社の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

このシマンテック製品には、サードパーティ（「サードパーティプログラム」）の所有物であることを示す必要があるサードパーティソフトウェアが含まれている場合があります。サードパーティプログラムの一部は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスで提供されます。本ソフトウェアに含まれる本使用許諾契約は、オープンソースまたはフリーソフトウェアライセンスでお客様が有する権利または義務を変更しないものとします。サードパーティプログラムについて詳しくは、この文書のサードパーティの商標登録の付属資料、またはこのシマンテック製品に含まれる TRIP ReadMe File を参照してください。

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバースエンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。Symantec Corporation からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

Symantec Corporation が提供する技術文書は Symantec Corporation の著作物であり、Symantec Corporation が保有するものです。保証の免責: 技術文書は現状有姿のまま提供され、Symantec Corporation はその正確性や使用について何ら保証いたしません。技術文書またはこれに記載される情報はお客様の責任にてご使用ください。本書には、技術的な誤りやその他不正確な点を含んでいる可能性があります。Symantec は事前の通知なく本書を変更する権利を留保します。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商業用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Rights in Commercial Computer Software or Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により制限された権利の対象となります。米国政府によるライセンス対象ソフトウェアおよび資料の使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

弊社製品に関して、当資料で明示的に禁止、あるいは否定されていない利用形態およびシステム構成などについて、これを包括的かつ暗黙的に保証するものではありません。また、弊社製品が稼動するシステムの整合性や処理性能に関しても、これを暗黙的に保証するものではありません。

これらの保証がない状況で、弊社製品の導入、稼動、展開した結果として直接的、あるいは間接的に発生した損害等についてこれが補償されることはありません。製品の導入、稼動、展開にあたっては、お客様の利用目的に合致することを事前に十分に検証および確認いただく前提で、計画および準備をお願いします。

Symantec Corporation
350 Ellis Street
Mountain View, CA 94043

<http://www.symantec.com>

目次

NetBackup スタートガイド	5
NetBackup について	5
NetBackup システムの動作	6
NetBackup システムを環境に合わせて動作させる方法	7
NetBackup ソフトウェアの入手について	7
NetBackup メディアキットについて	8
NetBackup の電子ソフトウェア配布 (ESD) イメージについて	9
NetBackup のライセンスキーの要件について	10
Symantec Operations Readiness Tools について	11
UNIX と Linux システムのインストール要件	12
Windows システムのインストール要件	14
NetBackup 7.6 のバイナリサイズ	16
NetBackup インストールの準備方法	20
NetBackup の構成について	22
NetBackup マニュアルの入手方法	23
NetBackup のサービスとサポートの情報について	25

NetBackup スタートガイド

NetBackup について

NetBackup は、さまざまなプラットフォームに対して、完全かつ柔軟なデータ保護ソリューションを提供します。対象となるプラットフォームには、Microsoft Windows、UNIX、Linux システムなどが含まれます。

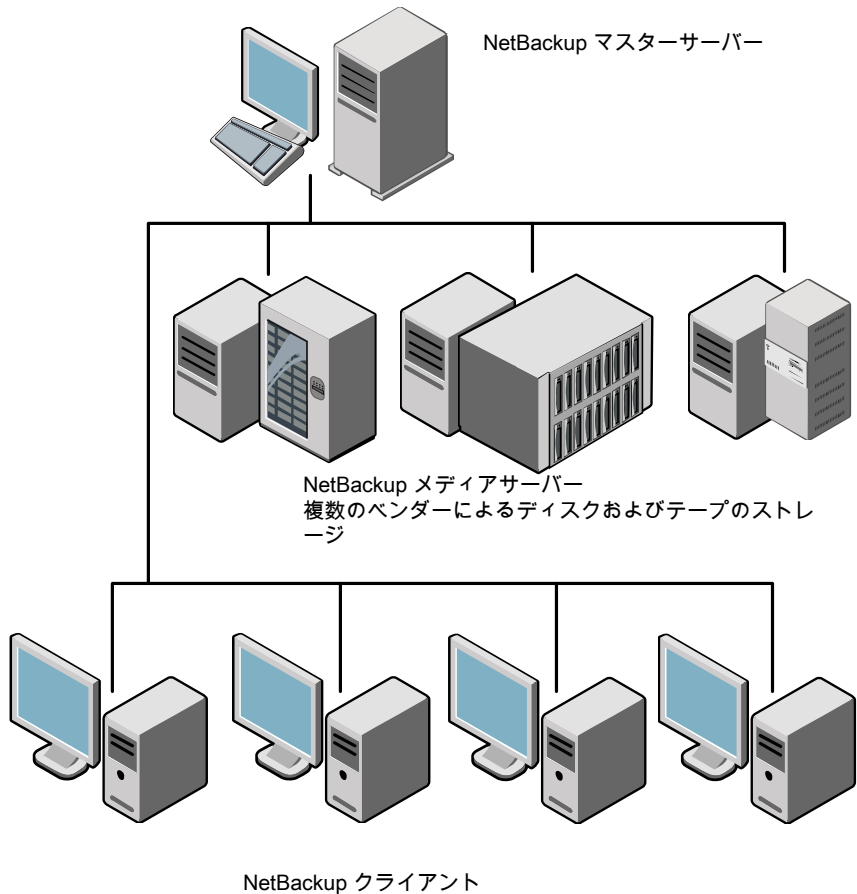
NetBackup では、コンピュータ上に存在するファイル、フォルダまたはディレクトリ、ボリュームまたはパーティションをバックアップ、アーカイブおよびリストアすることができます。

NetBackup には、次のサーバーおよびクライアントソフトウェアが含まれます。

- サーバーソフトウェアは、ストレージデバイスを管理するコンピュータ上に存在します。
 - マスターサーバーでは、バックアップ、アーカイブおよびリストアが管理されます。マスターサーバーで構成したバックアップポリシーによって、バックアップするコンピュータ (クライアント) やファイルが決まります。また、NetBackup で使用されるメディアやデバイスを選択します。マスターサーバーに NetBackup カタログが格納されます。このカタログには、NetBackup バックアップおよび構成の情報を含む内部データベースが含まれます。
 - メディアサーバーでは、メディアサーバーに接続されているストレージデバイスを NetBackup で使用可能にすることによって、追加のストレージが提供されます。また、メディアサーバーを使用すると、ネットワークの負荷を分散させることによってパフォーマンスを向上できます。メディアサーバーは、デバイスホストとも呼ばれます。
- クライアントソフトウェアは、バックアップを行うデータが存在するコンピュータにインストールします。(また、クライアントソフトウェアはサーバーにも含まれており、サーバーのバックアップを行うことができます。)

また、NetBackup では、複数のサーバーが連携して動作するように、1 台の NetBackup マスターサーバーの管理下でサーバーが制御されます (図 1 を参照)。

図 1 NetBackup の環境の例



p.6 の「[NetBackup システムの動作](#)」を参照してください。

p.7 の「[NetBackup システムを環境に合わせて動作させる方法](#)」を参照してください。

NetBackup システムの動作

バックアップまたはアーカイブ中に、クライアントは、ネットワークを介して NetBackup サーバーにバックアップデータを送信します。NetBackup サーバーは、バックアップポリシーで指定された形式のストレージを管理します。

ユーザーは、リストア中に、リカバリするファイルおよびディレクトリを表示して選択できます。選択したファイルおよびディレクトリは NetBackup によって検索され、クライアントのディスクにリストアされます。

p.7 の「[NetBackup システムを環境に合わせて動作させる方法](#)」を参照してください。

p.5 の「[NetBackup について](#)」を参照してください。

NetBackup システムを環境に合わせて動作させる方法

バックアップを行うタイミングは、ポリシーによって決定されます。ポリシーには、NetBackup クライアント (サーバー主導バックアップ) の自動的な無人バックアップのスケジュールを設定できます。また、ポリシーには、ファイルのバックアップおよびリストアを手動で実行可能な時間帯を定義できます (ユーザー主導の操作)。

NetBackup 管理者は、ネットワーク内のクライアントに対して、定期的またはカレンダーを基準として自動的な無人バックアップを実行するスケジュールを設定できます。バックアップを適切にスケジュールすることで、一定期間にわたって計画的に完全なバックアップを実行し、ネットワークの使用頻度が高い時間帯を避けて通信量を最適化することができます。

バックアップには、完全または増分を指定できます。完全バックアップでは、すべてのクライアントのファイルのバックアップが実行されます。増分バックアップでは、前回のバックアップ以降に変更されたファイルのみのバックアップが実行されます。

NetBackup の管理者によって許可されている場合、ユーザーは、自分のコンピュータからファイルのバックアップ、リストアまたはアーカイブを行うことができます。(アーカイブ操作では、正常にバックアップが完了すると、元のファイルがソースディスクから削除されます。)

p.6 の「[NetBackup システムの動作](#)」を参照してください。

p.5 の「[NetBackup について](#)」を参照してください。

NetBackup ソフトウェアの入手について

NetBackup 7.6 は次の形式で入手可能です。

- DVD メディアキット
すべての必要なソフトウェアとマニュアルファイルは複数の DVD で提供されます。
p.8 の「[NetBackup メディアキットについて](#)」を参照してください。
- 電子ソフトウェア配布 (ESD) イメージ
[FileConnect]Web サイトにある DVD イメージファイルをダウンロードできます。
p.9 の「[NetBackup の電子ソフトウェア配布 \(ESD\) イメージについて](#)」を参照してください。

p.8 の「[NetBackup メディアキットについて](#)」を参照してください。

p.9 の「[NetBackup の電子ソフトウェア配布 \(ESD\) イメージについて](#)」を参照してください。

p.10 の「[NetBackup のライセンスキーの要件について](#)」を参照してください。

NetBackup メディアキットについて

メディアキットは各々のサポート対象の UNIX プラットフォームまたはオペレーティングシステム用の DVD と Windows 用の 1 枚の DVD を含んでいます。各 DVD のラベルには、内容についての簡潔な説明が記載されています。キットの印刷資料はスタートガイドを含んでいます。

NetBackup 7.6 からは、NetBackup のマニュアルは DVD に含まれなくなりました。次の Web サイトから NetBackup のマニュアルにアクセスしてダウンロードすることができます。

<http://www.symantec.com/docs/DOC5332>

PDF ファイルのマニュアルを表示するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。次の URL の Adobe Web サイトからこの製品をダウンロードできます。

<http://www.adobe.com>

シマンテック社は、Adobe Acrobat Reader のインストールおよび使用についての責任を負いません。

次の表は各 DVD の内容を記述したものです。

表 1 NetBackup 7.6 の DVD の内容

DVD 番号	プラットフォーム OS	内容
1	AIX 64 ビット	サーバーとサポート対象のオプション
2	HP-UX IA64	サーバーとサポート対象のオプション
3	HP-UX PA-RISC 64 ビット	メディアサーバーとサポート対象のオプション
4	Linux RedHat x86_64	サーバーとサポート対象のオプション
5	Linux SUSE x86_64	サーバーとサポート対象のオプション
6	Solaris SPARC64	サーバーとサポート対象のオプション
7	Solaris x86-64	サーバーとサポート対象のオプション
8	Windows x64	<ul style="list-style-type: none">■ サーバーとサポート対象のオプション■ すべての x64 クライアント
9	Linux zSeries RedHat x64	メディアサーバーとサポート対象のオプション
10	Linux zSeries SUSE x64	メディアサーバーとサポート対象のオプション

DVD 番号	プラットフォーム OS	内容
11	UNIX クライアント 1	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX ■ FreeBSD ■ HP PA-RISC および IA64 ■ Mac ■ Solaris SPARC および X86
12	UNIX クライアント 2	すべての Linux プラットフォーム
13	LiveUpdate 形式 1 のクライアント	<ul style="list-style-type: none"> ■ AIX ■ HP IA64 ■ すべての Linux プラットフォーム ■ Solaris SPARC および X86
14	LiveUpdate 形式 2 のクライアント	<ul style="list-style-type: none"> ■ HP-PA-RISC ■ FreeBSD ■ Mac ■ すべての Windows プラットフォーム
15	プラグイン	ESX の NetBackup vCenter プラグイン
16	Windows の OpsCenter	すべての Windows プラットフォーム
17	UNIX または Linux の OpsCenter	すべての UNIX または Linux プラットフォーム
18	OpenVMS (CD 形式)	OpenVMS の NetBackup クライアント

p.9 の「[NetBackup の電子ソフトウェア配布 \(ESD\) イメージについて](#)」を参照してください。

p.7 の「[NetBackup ソフトウェアの入手について](#)」を参照してください。

p.7 の「[NetBackup ソフトウェアの入手について](#)」を参照してください。

p.9 の「[NetBackup の電子ソフトウェア配布 \(ESD\) イメージについて](#)」を参照してください。

p.10 の「[NetBackup のライセンスキーの要件について](#)」を参照してください。

NetBackup の電子ソフトウェア配布 (ESD) イメージについて

NetBackup 7.6 の ESD イメージは [FileConnect] の Web ページからダウンロード可能です。イメージは 1.8G のサイズ制限に従っています。

NetBackup 7.6 以降、NetBackup のマニュアルは ESD イメージに含まれなくなりました。次の Web サイトから NetBackup のマニュアルにアクセスしてダウンロードすることができます。

<http://www.symantec.com/docs/DOC5332>

PDF ファイルのマニュアルを表示するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。次の URL の Adobe Web サイトからこの製品をダウンロードできます。

<http://www.adobe.com>

シマンテック社は、Adobe Acrobat Reader のインストールおよび使用についての責任を負いません。

ESD のダウンロードを正しく行うために、一部の製品イメージがより小さく管理しやすいファイルに分割されています。ファイルを解凍する前に、1 of 2、2 of 2 として識別できる分割されたイメージファイルを最初に結合する必要があります。[FileConnect] の Download Readme.txt ファイルはファイルを結合する方法を記述します。

p.7 の「NetBackup ソフトウェアの入手について」を参照してください。

p.8 の「NetBackup メディアキットについて」を参照してください。

p.8 の「NetBackup メディアキットについて」を参照してください。

p.7 の「NetBackup ソフトウェアの入手について」を参照してください。

p.10 の「NetBackup のライセンスキーの要件について」を参照してください。

NetBackup のライセンスキーの要件について

NetBackup マスターサーバーまたはメディアサーバーのソフトウェアをインストールするには、NetBackup 製品のライセンスキーを入力する必要があります。

ライセンスキーを入手するには、NetBackup 製品を発注するときにライセンスの SKU を発注する必要があります。

発注後、シマンテック社は次の情報を含んでいるライセンス証明書を添付した電子メールを送信します。

購入済みの NetBackup のライセンスのリスト このリストは発注した製品のライセンスすべてを含んでいます。

安全な場所にこのリストを保管してください。テクニカルサポートに問い合わせる場合に、製品のライセンスキーが必要になることがあります。

NetBackup 製品をダウンロードするためのアクセス用のシリアル番号 DVD メディアキットの代わりに、NetBackup 製品インストール用の電子ソフトウェア配布 (ESD) イメージをダウンロードするためにこのシリアル番号を使うことができます。

次の Web サイトに移動し、システムに ESD イメージをダウンロードするためにこのシリアル番号を入力します。

<https://fileconnect.symantec.com/LangSelection.jsp>

NetBackup をインストールするとき、メッセージが表示されたらマスターサーバーで他の製品のライセンスキーをすべて入力することを推奨します。これらのライセンスキーを後で追加することもできますが、マスターサーバーのソフトウェアをインストールするときにそれらを入力する方が簡単です。

NetBackup のライセンスキーの管理方法について詳しくは、『Symantec NetBackup 管理者ガイド Vol. 1』を参照してください。

<http://www.symantec.com/docs/DOC5332>

p.7 の「NetBackup ソフトウェアの入手について」を参照してください。

p.8 の「NetBackup メディアキットについて」を参照してください。

p.9 の「NetBackup の電子ソフトウェア配布 (ESD) イメージについて」を参照してください。

p.7 の「NetBackup ソフトウェアの入手について」を参照してください。

Symantec Operations Readiness Tools について

Symantec Operations Readiness Tools (SORT) は、シマンテックエンタープライズ製品をサポートする Web ベースのツールのセットです。NetBackup では、SORT によって、複数の UNIX/Linux または Windows 環境にまたがってホストの設定を収集、分析、報告する機能が提供されます。このデータは、システムで NetBackup の最初のインストールまたは現在使用中のバージョンからのアップグレードを行う準備ができていかどうかを評価するのに役立ちます。

SORT にアクセスするには、次の Web ページに移動します。

<https://sort.symantec.com/netbackup>

SORT ページに移動すると、次のように多くの情報を利用可能です。

- インストールとアップグレードのチェックリスト
このツールを使うと、システムで NetBackup のインストールまたはアップグレードを行う準備ができていかどうかを確認するためのチェックリストを作成できます。
- Hotfix と EEB Release Auditor
このツールを使うと、インストールする予定のリリースに必要な Hotfix が含まれているかどうかを調べることができます。

- カスタムレポート
このツールを使うと、システム、シマンテックエンタープライズ製品、リスク評価のヒント、製品ライセンスの追跡に関する推奨事項を取得できます。
- NetBackup のプラットフォームと機能の今後の予定 (NetBackup Future Platform and Feature Plans)
このツールを使用すると、どんな項目をシマンテック社が新しいものと置き換えて機能を向上させるかと、どんな項目をシマンテック社が置き換えずに廃止するかについての情報を取得できます。これらの項目のいくつかには NetBackup の特定の機能、他社製品の統合、シマンテック製品の統合、アプリケーション、データベースおよび OS のプラットフォームが含まれます。

UNIX と Linux システムのインストール要件

表 2 は NetBackup のインストールのために UNIX と Linux システムを準備するための要件を記述します。各項目に対応するためにチェックリストとしてこの表を使ってください。

表 2 UNIX および Linux の NetBackup のインストール要件

チェック	要件
	<p>オペレーティングシステム:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ UNIX と Linux の互換性のあるオペレーティングシステムの完全なリストについては、次の Web サイトで『NetBackup 7.x Operating System Compatibility List』を参照してください。 http://www.symantec.com/business/support/overview.jsp?pid=15143 [Common Topics] セクションの [Compatibility List] の下で、[NetBackup 7.x Operating System] をクリックします。
	<p>メモリ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 本番環境では、マスターサーバーにも最低 8 GB のメモリを搭載する必要があります。 ■ 本番環境では、メディアサーバーにも最低 4 GB のメモリを搭載する必要があります。 ■ 本番環境では、いずれのクライアントにも最低 512 MB のメモリを搭載する必要があります。 ■ NetBackup-Java インターフェースの適正なパフォーマンスのため、512 MB の RAM が必要です。この容量のうち、256 MB はインターフェースプログラム (jnbSA または jbpSA) で利用可能である必要があります。 <p>メモリの要件についての追加情報に関しては、『NetBackup Backup Planning and Performance Tuning Guide』を参照してください。 http://www.symantec.com/docs/DOC5332</p>

チェック	要件
	<p>ディスク領域:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 必要となる正確な空き領域はハードウェアプラットフォームによって決まります。このトピックに関する詳細情報を参照できます。 p.16 の 表 4 を参照してください。 ■ NetBackup カタログには、バックアップについての情報が含まれているため、製品の使用に伴ってサイズが大きくなります。カタログに必要なディスク領域は、主に、次のバックアップ構成によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ バックアップ対象のファイル数。 ■ バックアップの間隔。 ■ バックアップデータの保持期間。 <p>メモ: ディスク領域の値は初回インストール用です。NetBackup カタログはマスターサーバーが本番環境になっているときかなり多くの領域を必要とします。NetBackup カタログのサイズ変更の要件について詳しくは、『NetBackup Backup Planning and Performance Tuning Guide』を参照してください。</p> <p>http://www.symantec.com/docs/DOC5332</p>
	<p>gzip および gunzip コマンド:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ gzip および gunzip コマンドがローカルシステムにインストールされていることを確認してください。これらのコマンドがインストールされているディレクトリは、root ユーザーの PATH 環境変数設定に含まれている必要があります。
	<p>クラスタシステム:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ NetBackup クラスタ内の各ノードで ssh コマンド、rsh コマンド、または同等のコマンド (HP-UX システムでは remsh) を実行できることを確認します。root ユーザーとして、パスワードを入力せずにクラスタ内の各ノードにリモートログインする必要があります。このリモートログインは、NetBackup サーバー、NetBackup エージェントおよび別ライセンス製品のインストールと構成を行うときに必要です。インストールおよび構成を完了した後は不要になります。 ■ NetBackup をインストールする前に、クラスタフレームワークをインストールして構成し、起動しておく必要があります。 ■ DNS、NIS、/etc/hosts ファイルを使って、仮想名を定義しておく必要があります。IP アドレスも同時に定義します。(仮想名は IP アドレスのラベルです。) <p>クラスタ要件に関する詳細情報を参照できます。</p> <p>『Symantec NetBackup マスターサーバーのクラスタ化管理者ガイド』</p> <p>http://www.symantec.com/docs/DOC5332</p>

p.14 の「[Windows システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.22 の「[NetBackup の構成について](#)」を参照してください。

p.23 の「[NetBackup マニュアルの入手方法](#)」を参照してください。

Windows システムのインストール要件

表 3 は NetBackup のインストールのために Windows システムを準備するための要件を記述します。各項目に対応するためにチェックリストとしてこの表を使ってください。

表 3 Windows の NetBackup のインストール要件

チェック	要件
	<p>オペレーティングシステム:</p> <ul style="list-style-type: none"> Windows の互換性のあるオペレーティングシステムの完全なリストについては、次の Web サイトで『NetBackup 7.x Operating System Compatibility List』を参照してください。 http://www.symantec.com/business/support/overview.jsp?pid=15143 [Common Topics] セクションの [Compatibility List] の下で、[NetBackup 7.x Operating System] をクリックします。
	<p>メモリ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 本番環境では、マスターサーバーにも最低 8 GB のメモリを搭載する必要があります。 本番環境では、メディアサーバーにも最低 4 GB のメモリを搭載する必要があります。 <p>メモリの要件についての追加情報に関しては、『NetBackup Backup Planning and Performance Tuning Guide』を参照してください。 http://www.symantec.com/docs/DOC5332</p>
	<p>NTFS パーティション。</p>

チェック	要件
	<p>ディスク領域:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ サーバーソフトウェアおよび NetBackup カタログに対応するために必要となる正確な空き領域は、ハードウェアプラットフォームによって決まります。このトピックに関する詳細情報を参照できます。 p.16 の 表 4 を参照してください。 ■ NetBackup カタログには、バックアップについての情報が含まれているため、製品の使用に伴ってサイズが大きくなります。カタログに必要なディスク領域は、主に、次のバックアップ構成によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> ■ バックアップ対象のファイル数。 ■ バックアップの間隔。 ■ バックアップデータの保持期間。 ■ ディスクストレージユニットボリュームまたはファイルシステムで、5% 以上の利用可能なディスク領域を確保することをお勧めします。 <p>メモ: ディスク領域の値は初回インストール用です。NetBackup カタログはマスターサーバーが本番環境になっているときにかなり多くの領域を必要とします。NetBackup カタログのサイズ変更の要件について詳しくは、『NetBackup Backup Planning and Performance Tuning Guide』を参照してください。</p> <p>http://www.symantec.com/docs/DOC5332</p>
	<p>クラスタシステム:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ クラスタ内のすべてのノードで、同じバージョンのオペレーティングシステム、Service Pack および NetBackup を実行している必要があります。サーバーのオペレーティングシステムに異なるバージョンを混在させることはできません。 ■ インストールのアカウントには、すべてのリモートシステムまたはクラスタ内のすべてのノードの管理者権限が必要です。 <p>クラスタ要件に関する詳細情報を参照できます。</p> <p>『Symantec NetBackup マスターサーバーのクラスタ化管理者ガイド』</p> <p>http://www.symantec.com/docs/DOC5332</p>
	<p>サービスとポート番号:</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ NetBackup サービスおよびポート番号は、ネットワーク全体で同じである必要があります。 ■ NetBackup サービスおよびインターネットサービスのポートには、デフォルトのポート設定を使用することをお勧めします。ポート番号を変更する場合は、すべてのマスターサーバー、メディアサーバーおよびクライアントに対して同じ値を設定する必要があります。ポートエントリは、次のファイルに格納されています。 %SYSTEMROOT%\system32\drivers\etc\services。デフォルト設定を変更するには、NetBackup のカスタムインストールを行うか、services ファイルを手動で編集する必要があります。

チェック	要件
	リモート管理コンソールのホスト名: <ul style="list-style-type: none"> ■ マスターサーバーのインストール中に、リモート管理コンソールホストの名前を入力する必要があります。

p.12 の「UNIX と Linux システムのインストール要件」を参照してください。

p.22 の「NetBackup の構成について」を参照してください。

p.23 の「NetBackup マニュアルの入手方法」を参照してください。

NetBackup 7.6 のバイナリサイズ

この項の情報は、NetBackup 環境ですべてのデータを安全かつ効率よくバックアップおよびリストアするために適切な量のディスク領域がサーバーに割り当てられているかどうかを判断するのに役立ちます。

オペレーティングシステムのバージョンサポートの最新情報については、SORT の『インストールとアップグレードのチェックリスト』か『NetBackup Enterprise Server and Server 7.x OS Software Compatibility List』を参照してください。

<https://sort.symantec.com/netbackup>。

『NetBackup Enterprise Server and Server 7.x OS Software Compatibility List』

- <http://www.symantec.com/docs/TECH76648>

表 4 に、NetBackup と互換性のあるオペレーティングシステムごとに、NetBackup マスターおよびメディアサーバーソフトウェアのおおよそのバイナリサイズ、および NetBackup クライアントソフトウェアの要件を示します。

表 4 互換性のあるプラットフォームの NetBackup のバイナリサイズ

OS/バージョン	CPU アーキテクチャ	32 ビットのクライアント	64 ビットのクライアント	32 ビットのサーバー	64 ビットのサーバー	注意事項
AIX 6.1、7.1	POWER		2412MB		6847MB	
Asianux 3	x86-64		1580MB		6350MB	
Canonical Ubuntu 9.04、9.10、10.04、11.10、12.04	x86-64		1580MB			
CentOS 5	x86-64		1580MB		6350MB	メディアサーバーまたはクライアントとの互換性のみ。

OS/バージョン	CPU アーキテクチャ	32ビットのクライアント	64ビットのクライアント	32ビットのサーバー	64ビットのサーバー	注意事項
CentOS 6	x86-64		1580MB		6350MB	メディアサーバーまたはクライアントとの互換性のみ。
Debian GNU/Linux 5, 6	x86-64		1580MB			
FreeBSD 6.1, 6.2, 6.3, 7.x, 8.x, 9.x	x86-32	290MB				
FreeBSD 6.3, 7.x, 8.x, 9.x	x86-64	290MB				
HP-UX 11.11, 11.23, 11.31	PA-RISC		948MB		2380MB	メディアサーバーまたはクライアントとの互換性のみ。
HP-UX 11.31	IA-64		2446MB		6905MB	
Mac OS X 10.6	x86-32	272MB				
Mac OS X 10.6, 10.7, 10.8	x86-64	272MB				
Novell Open Enterprise Server 2	x86-64		1576MB		6352MB	
Novell Open Enterprise Server 11	x86-64		1576MB		6352MB	
OpenVMS 5.5, 6.2, 7.3	HP VAX	128MB				表示されているサイズは、NetBackup 7.5 バイナリ用です。OpenVMS 用の NetBackup 7.6 バイナリは提供されません。
OpenVMS 6.1, 6.2, 7.3, 8.2, 8.3, 8.4	HP Alpha		128MB			表示されているサイズは、NetBackup 7.5 バイナリ用です。OpenVMS 用の NetBackup 7.6 バイナリは提供されません。
OpenVMS 8.2, 8.3, 8.3-1H1, 8.4	HP IA64		128MB			表示されているサイズは、NetBackup 7.5 バイナリ用です。OpenVMS 用の NetBackup 7.6 バイナリは提供されません。
Oracle Linux 5	x86-64		1580MB		6350MB	

OS/バージョン	CPU アーキテクチャ	32ビットのクライアント	64ビットのクライアント	32ビットのサーバー	64ビットのサーバー	注意事項
Oracle Linux 6	x86-64		1580MB		6350MB	
Red Flag Linux 5	x86-64		1580MB		6350MB	
Red Hat Enterprise Linux 5	x86-64		1580MB		6350MB	
Red Hat Enterprise Linux 6	x86-64		1580MB		6350MB	
Red Hat Enterprise Linux Desktop 5	x86-64		1580MB			
Red Hat Enterprise Linux 4	POWER		466MB			
Red Hat Enterprise Linux 5	POWER		466MB			
Red Hat Enterprise Linux 5	z/Architecture		1044MB		4920MB	メディアサーバーまたはクライアントとの互換性のみ。
Red Hat Enterprise Linux 6	z/Architecture		1044MB		4920MB	メディアサーバーまたはクライアントとの互換性のみ。
Solaris 10	SPARC		1552MB		4623MB	
Solaris 11	SPARC		1552MB		4623MB	
Solaris 10	x86-64		1233MB		4506MB	
Solaris 11	x86-64		1233MB		4506MB	
SUSE Linux Enterprise Server 10 (SP2)	x86-64		1576MB		6352MB	
SUSE Linux Enterprise Server 11	x86-64		1576MB		6352MB	
SUSE Linux Enterprise Server 9	POWER		473MB			クライアントのみとの互換性。
SUSE Linux Enterprise Server 10 (SP2)	POWER		473MB			クライアントのみとの互換性。
SUSE Linux Enterprise Server 10 (SP2)	z/Architecture		1036MB		4911MB	メディアサーバーまたはクライアントとの互換性のみ。

OS/バージョン	CPU アーキテクチャ	32ビットのクライアント	64ビットのクライアント	32ビットのサーバー	64ビットのサーバー	注意事項
SUSE Linux Enterprise Server 11	z/Architecture		1036MB		4911MB	メディアサーバーまたはクライアントとの互換性のみ。
Windows	x86-32	770MB				互換性のあるすべての Windows x86 プラットフォームが含まれます。
Windows	x86-64		1054MB		2478MB	互換性のあるすべての Windows x64 プラットフォームが含まれます。

メモ: 上記の表で特に明記されていないかぎり、NetBackup はすべてのエディション (Advanced、Base、DC など) およびすべてのベンダー GA の更新 (n.1、n.2 など) またはサービスパック (SP1、SP2 など) で次の Linux プラットフォームがサポートされます。Asianux、CentOS、Debian GNU/Linux、Novell Open Enterprise Server、Oracle Linux、Red Flag Linux、Red Hat および SUSE。

表 5 に、OpsCenter と互換性のあるオペレーティングシステムごとに、おおよそのバイナリサイズ、および OpsCenter Agent、サーバーおよび ViewBuilder ソフトウェアの要件を示します。

表 5 互換性のあるプラットフォームの OpsCenter のバイナリサイズ

OS/バージョン	CPU アーキテクチャ	エージェント (Agent)	サーバー	ViewBuilder
Red Hat Enterprise Linux Server 5 (Kernel 2.6.18+)	x86-64		855MB	
SUSE Linux Enterprise Server 10 (SP2) (Kernel 2.6.16+)	x86-64		855MB	
Solaris 10	SPARC	451MB	959MB	
Solaris 11	SPARC	451MB	959MB	
Solaris 10	x86-64		985MB	
Solaris 11	x86-64		985MB	

OS/バージョン	CPU アーキテクチャ	エージェント (Agent)	サーバー	ViewBuilder
Windows Server 2008 R2	x86-64	268MB	777MB	172MB
Windows Server 2008 R2	x86	268MB		
Windows Server 2012	x86-64	268MB	777MB	172MB

表 6 に、NetBackup vCenter Plugin と互換性のあるオペレーティングシステムごとの、おおよそのバイナリサイズおよび NetBackup vCenter Plugin クライアントソフトウェアの要件を示します。

表 6 互換性のあるプラットフォームの NetBackup vCenter Plugin のバイナリサイズ

OS/バージョン	CPU アーキテクチャ	32 ビットのクライアント	64 ビットのクライアント	32 ビットのサーバー	64 ビットのサーバー	注意事項
SUSE Linux Enterprise Server 11 (SP1)	x86-64	N/A	N/A	N/A	2.6 GB	シンプロビジョニング OVA 形式のみ
SUSE Linux Enterprise Server 11 (SP1)	x86-64	N/A	N/A	N/A	20 GB	シックプロビジョニング OVA 形式のみ

NetBackup インストールの準備方法

次の表は NetBackup のインストールの前に対応する必要があるキーポイントを記述します。各項目に対応するためにチェックリストとしてこれらの表を使ってください。

表 7 は NetBackup をインストールする前にバックアップ環境で実行する必要があるタスクを記述します。

表 7 インストール前のタスク

チェック	インストール前のタスク
	他社のバックアップソフトウェアを削除します。
	バックアップ環境のすべてのコンピュータの最新のオペレーティングシステム (OS) の更新をインストールします。

チェック	インストール前のタスク
	すべてのストレージデバイスの最新の更新をインストールして構成し、それらが OS と連携して動作することを確認します。
	画面解像度を最低 1024x768、256 色に設定します。

表 8 は NetBackup をインストールするときに必要な情報を記述します。

表 8 NetBackup のインストール情報

チェック	必要な情報
	<ul style="list-style-type: none"> ■ NetBackup メディアキットか ESD イメージ ■ 購入した NetBackup および他のすべての NetBackup 製品のライセンスキー ■ 『NetBackup インストールガイド』 http://www.symantec.com/docs/DOC5332 ■ NetBackup リリースノート http://www.symantec.com/docs/DOC5332
	マスターサーバーの名前 (完全修飾ドメイン名と短縮名) メモ: サーバー名の入力を求められたら、適切なホスト名を常に入力してください。IP アドレスを入力しないでください。
	メディアサーバーの名前 (完全修飾ドメイン名と短縮名) メモ: サーバー名の入力を求められたら、適切なホスト名を常に入力してください。IP アドレスを入力しないでください。
	クライアントの名前 (完全修飾ドメイン名と短縮名)
	ユーザー名とパスワード
	管理者アカウントのクレデンシャル バックアップ管理者に NetBackup をインストールする管理者権限がなければなりません。
	インストールする予定のリモート管理コンソールのホストの名前 (マスターサーバーのインストール時)。

バックアップ環境に関する表のすべての項目をチェックしたら、NetBackup のインストール準備ができています。

p.12 の「[UNIX と Linux システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.14 の「[Windows システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.22 の「[NetBackup の構成について](#)」を参照してください。

p.23 の「[NetBackup マニュアルの入手方法](#)」を参照してください。

NetBackup の構成について

サーバーおよびクライアントにソフトウェアをインストールした後、バックアップの格納場所を設定または構成する必要があります。NetBackup 管理コンソールはいくつかの構成ウィザードを提供します。構成ウィザードを使用すると、ファイルの格納場所、およびストレージとして使用するメディアデバイスを構成することができます。

NetBackup 管理コンソール

NetBackup 管理コンソールは、NetBackup の構成および操作に役立つグラフィカルユーザーインターフェースです。コンソールが開いている状態では、キーボードの F1 キーを押していつでもヘルプを起動できます。

ストレージデバイスの構成 (Configure Storage Devices)

NetBackup で使うストレージデバイスを構成するには、このウィザードを使います。ウィザードはデバイスのシリアル化を使ってロボットライブラリとロボットドライブを構成します。

ディスクストレージサーバーの構成 (Configure Disk Storage Servers)

新しいストレージサーバーを使うためにストレージサーバーとディスクプールを作成および構成するには、このウィザードを使います。

クラウドストレージサーバーの構成 (Configure Cloud Storage Server)

NetBackup がクラウドストレージプロバイダにデータを送信できるようにするためにクラウドストレージサーバーとディスクプールを作成するには、このウィザードを使います。

ディスクプールの構成 (Configure Disk Pool)

ディスクプールを使うためにディスクプールとストレージサーバーを作成および構成するには、このウィザードを使います。

ボリュームの構成 (Configure Volumes)

リムーバブルメディアをバックアップで使うように構成するにはこのウィザードを使います。

カタログバックアップの構成 (Configure the Catalog Backup)

このウィザードを使用すると、NetBackup 構成およびカタログ情報のバックアップ方法とタイミングを指定できます。カタログバックアップは、サーバーの障害やクラッシュの発生時にデータをリカバリするために必要です。

p.12 の「[UNIX と Linux システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.14 の「[Windows システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.23 の「[NetBackup マニュアルの入手方法](#)」を参照してください。

NetBackup マニュアルの入手方法

Adobe Portable Document Format (PDF) には、Symantec NetBackup Web サイトにある NetBackup のマニュアルのコピーがあります。

<http://www.symantec.com/docs/DOC5332>

PDF ファイルのマニュアルを表示するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。これは次のサイトからダウンロード可能です。

<http://www.adobe.com>

NetBackup のマニュアルセット全体のリストは、『Symantec NetBackup リリースノート UNIX、Windows および Linux』の付録に記載されています。

表 9 に、NetBackup に関連する技術マニュアルを示します。

表 9 NetBackup のマニュアル

マニュアルの種類	マニュアルのタイトル
インストールガイド	『Symantec NetBackup インストールガイド UNIX および Windows』 Symantec NetBackup リリースノート Symantec NetBackup 7.6 アップグレードガイド
管理者ガイド (基本製品)	Symantec NetBackup 管理者ガイド Vol. 1 UNIX、Windows および Linux Symantec NetBackup 管理者ガイド Vol. 2 UNIX、Windows および Linux Symantec NetBackup マスターサーバーのクラスタ化管理者ガイド 『Symantec NetBackup OpsCenter 管理者ガイド』

マニュアルの種類	マニュアルのタイトル
エージェントとオプションのガイド	『Symantec NetBackup LiveUpdate Guide』 Symantec NetBackup Snapshot Client 管理者ガイド 『NetBackup for Hyper-V 管理者ガイド』 『Symantec NetBackup for VMware 管理者ガイド』 Symantec NetBackup for DB2 管理者ガイド UNIX、Windows および Linux Symantec NetBackup for Informix 管理者ガイド Symantec NetBackup for Lotus Notes 管理者ガイド Symantec NetBackup for Microsoft Exchange Server 管理者ガイド Windows Symantec NetBackup for Microsoft SQL Server 管理者ガイド Symantec NetBackup for NDMP 管理者ガイド UNIX、Windows および Linux Symantec NetBackup for Oracle 管理者ガイド UNIX、Windows および Linux Symantec NetBackup for SAP 管理者ガイド UNIX、Windows および Linux Symantec NetBackup for Microsoft SharePoint Server 管理者ガイド Symantec NetBackup for Sybase 管理者ガイド UNIX、Windows および Linux 『Symantec NetBackup Bare Metal Restore 管理者ガイド』 『Symantec NetBackup Vault 管理者ガイド』 『Symantec NetBackup for Enterprise Vault Agent 管理者ガイド Windows』 『Symantec NetBackup Vault 操作ガイド』 『Symantec NetBackup クラウド管理者ガイド』 『Symantec NetBackup Search 管理者ガイド』
スタートガイド	『Symantec NetBackup スタートガイド』 『Symantec NetBackup バックアップ、アーカイブおよびリストアスタートガイド UNIX、Windows および Linux』

マニュアルの種類	マニュアルのタイトル
ストレージとデバイスのガイド	『Symantec NetBackup AdvancedDisk ストレージソリューションガイド』 『Symantec NetBackup OpenStorage Solutions ガイド for Disk』 『Symantec NetBackup デバイス構成ガイド UNIX、Windows および Linux』 『Symantec NetBackup SAN クライアントおよびファイバートランスポートガイド UNIX、Windows および Linux』
その他のガイド	『Symantec NetBackup レプリケーションディレクタソリューションガイド』 『Symantec NetBackup コマンドリファレンスガイド』 『Symantec NetBackup セキュリティおよび暗号化ガイド』 『Symantec NetBackup 高可用性の環境管理者ガイド』 『Symantec NetBackup 重複排除ガイド UNIX、Windows および Linux』 『Symantec NetBackup トラブルシューティングガイド』 『Symantec NetBackup 状態コードリファレンスガイド』 Symantec NetBackup 製品ファミリーのサードパーティの法的通知 Symantec NetBackup DataStore SDK プログラマガイド XBSA Symantec NetBackup OpsCenter レポートガイド Symantec NetBackup Plug-in for VMware vCenter ガイド Symantec NetBackup ネットワークポートリファレンスガイド

p.12 の「[UNIX と Linux システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.14 の「[Windows システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.22 の「[NetBackup の構成について](#)」を参照してください。

NetBackup のサービスとサポートの情報について

電話または Web サイトのいずれかを使って、シマンテック社テクニカルサポートから技術サポートを受けることができます。テクニカルサポートやカスタマケアが必要な場合、または NetBackup のマニュアルをダウンロードする場合は、次の Web サイトにログインしてください。

<http://entsupport.symantec.com>

p.12 の「[UNIX と Linux システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.14 の「[Windows システムのインストール要件](#)」を参照してください。

p.22 の「[NetBackup の構成について](#)」を参照してください。

p.23 の「[NetBackup マニュアルの入手方法](#)」を参照してください。